進捗報告（資金分配団体）

● 提　出　日　：2022 年　11 月　30 日
● 事　業　名　：質の高い継続的な被災地支援(台風 15・19 号被災地支援プログラム対応含)
● 資金分配団体　：特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☐有　☑無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
支援対象グループに対して、心理社会的支援や生活再建にする制度との連結を促す対人支援を行う。	・対象グループにおける参加者数や参加率 ・対人支援サービス(お茶会、訪問、居場所等)に対する満足度	・対象グループにおける対人サービスを必要とする被災者の参加率又は接触率 8 割以上 ・対人支援サービス利用の満足度 8 割以上	最長 2023 年 3 月まで	JISP　9 割 共生地域　実施中 ながの　実施中	2
支援対象グループが生活再建上課題となっている事象への問題解決に関する支援を行う。(復興計画への住民関与における専門的支援、生活インフラへのアクセスの為の移動支援やその体制づくり、復興過程にストレスを抱える子どもやその親の支援など)	・支援対象グループの抱える課題の解決又は解決方法の見通しができる。	・当初課題として挙げていた 3 つの事象における解決又は解決方法の見通しが立つ状態。	最長 2023 年 3 月まで	JISP　目標達成 SEEDS　目標達成 共生地域　継続準備中（見通しは立った） ながの　継続準備中（見通しは立った）	2

【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
災害支援における国際基準に関する知見の獲得	国際基準に関する研修会参加団体数又は職員数	2/4 団体	4/4 団体	3/4（2 団体はスフィア、1 団体は PFA）	2
国際基準を理解する団体が引き続き、支援対象グループや対象地において、関係性を維持し続ける。(事業終了後の随時的な支援や、長期展望における勉強会や交流などの継続)	対象地域において、関係性が維持できる団体数	0/4 団体	4/4 団体	3/4	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3.非資金的支援の活動に関する報告
今年度事業実施中の 2 団体については、引き続きアウトプットである被災者への支援を継続的に行いつつ、それぞれの事業の出口に向かっている。 ① ながのこどもの城においては、伴走支援にある国際基準化の知見獲得を、当該団体以外にも範囲を広げ、今後の発災時における子ども支援のネットワーク化を進めている関係団体にも共有し、また知見獲得に終わらず、令和元年台風での知見を入れ込み、より実務的な災害

支援の知見づくりを始めている。 また、当該団体においては、被災地域内の団体であることから、引き続き被災した子ども向けの居場所づくりの事業は継続していくものの、被災者支援という目的から、平時からの居場所づくりへの転換に向けて動き出している。 このための民間予算も獲得でき、引き続き今回の休眠預金事業でできた基盤を継承し、事業を継続して言う事が見えてきている。 ② 共生地域創造財団については、事業終了年度後の組織体制の変更があり、当該地域における災害支援を継続する予定が無い事から、知見の獲得は実施せず、一方で、当該地域における事業担当者が引き続き被災者の支援を行う事になり、その継続についての支援を重点的に行った。 具体的には JANPIA の実施する企業とのマッチング会などを通じて、今後の事業プランの策定や新たな支援者と出会う事が出来、事業面や資金面、人員体制面などについて、出口に向け準備を始めた。団体の意向と企業側の関心事とのすり合わせや活動内容のプレゼンテーションなど、団体にとっては初めての経験も多く、その部分のサポートが必要であった。 ③ なお、過年度終了の 2 団体については、休眠預金事業終了後も民間資金を獲得し、引き続き当該地域での支援を継続していることを確認している。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
今年度においても感染症の拡大と収束を地域ごとに繰り返している状況であったが、この 2 年間でいずれの団体も、感染症拡大防止に対する最大の配慮とオンライン活用などの事業実施のノウハウが定着してきたため、特段の工夫という事もなく、事業が実施できている。

③広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　　☐広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2. 広報
なし

添付資料　活動の写真（画像データは１枚２MG 以下、3～4 枚程度）

左：国際基準に準拠した子どもの災害時の居場所についての WS

右：家を失った被災者の交流（サロン、農作業）